

## 大同特殊鋼(株)様 工場見学会に参加してきました！

### Introduction

9月24日、大同特殊鋼(株) 知多工場の見学会に、事務員2人で参加させていただきました。そのときの様子を、レポートします！

#### 大同特殊鋼(株) 知多工場について

愛知県東海市にある特殊鋼製造・販売の一大拠点。自動車向けの構造用鋼をはじめ、ステンレス鋼、工具鋼、高合金まで幅広く取り扱っている、世界最高水準の工場です。

#### 工場見学の前に……

工場内を見学する前に、まずは少しお勉強です。特殊鋼の基礎知識について、講師の方に教えていただきます。それが終わるといよいよ工場見学です。白衣を身に着け、ヘルメットと無線を装着し、いざ工場へまいります。

#### 工場の中は？

まず訪れたのは、危険体感塾です。ここでは、現場で起こる可能性のある危険な事故を実際に体験することができます。今回は時間の都合により「可燃ガスの爆発」しか体験できませんでしたが、他の危険体感講習も随時申込み可能だそうです。皆様も体感してみたいはいかがでしょうか。

次に訪れたのは、自社開発の150t電気炉。70分で150tもの鉄が溶かせるという大変巨大なものです。炉の下にベアリングが仕込んであり、窯が回ることによって、3本もの電極で非常に効率よく鉄を溶かすことができます。

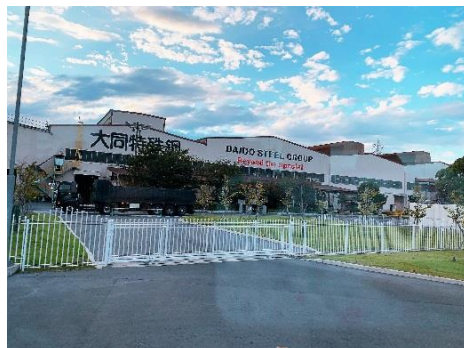
原料となる鉄スクラップを窯へ投入すると、巨大な炎が立ち上がり火花が散ります。大迫力で、まるで火災のようです。中部地方は車の生産工場が多く、良質なスクラップが手に入るの、製鋼に向いているそうです。

最後は鑄造・圧延・検査工程の見学です。

一度も冷まされないままベルトコンベアーで運ばれてきた熔鉄がレール上を行き来し、圧延され、徐々に細く長く延ばされていきます。15.5cm角まで圧延されると、次は検査です。

超音波探傷と磁粉探傷は人の手で、研削は自動の機械で行っており、QRコードで全ての工程を遡れるように管理されています。たいへん効率的ですね。

以上で完成です。様々な工程がある製鋼ですが、知多工場では安全を保ちながら、高い生産性を維持できる環境が整えられていました。大変良い機会をいただき、見習いたいものがたくさん発見できる半日となりました！



大同特殊鋼(株)知多工場の敷地内入り口正面



大同特殊鋼(株)知HPより抜粋  
150tアーク炉のようす



大同特殊鋼(株)HPより抜粋  
見学スペース、通路が設けられています



大同特殊鋼(株)HPより抜粋  
危険体感塾のようす